

## 筑波山(裏筑波コース)山行報告

**【山行日】**2017年4月15(土) 晴れ  
**【集 合】**鹿窪運動公園P AM 8:00  
**【費 用】**マイカー1台 : 400円  
**【メンバー】**CL:鈴木、伊藤、島田、田崎、  
田中、福田、大木、高橋  
**【コースタイム】**鹿窪運動公園P8:00＝  
筑波高原キャンプ場 P8:50/9:05～男の川登  
山口 9:20～薬王院コース合流点 10:00～  
男体山 10:30～御幸が原 10:50～女体山  
11:10/11:20～カタクリ園地:11:30/11:55～  
筑波高原キャンプ場 12:40/12:50＝鹿窪運動公園P13:30



カタクリとニリンソウの花を求めて、男の川登山口から登り筑波高原キャンプ場へ下るコースを計画した。鹿窪運動公園を出発し、最短ルートで走り1時間足らずで筑波高原キャンプ場に着く。トイレ前の駐車場は2台分空きスペースがあり、駐車することが出来た。今回は体験山行2名の参加があり、準備をしてトイレを済ませストレッチをしてから自己紹介を行う。



キャンプ場から道路を歩き、男の川登山口に向かう。道路の北側は植林地だったが、綺麗に伐採されとても見晴が良くなった。男の川登山口に着くと車が十台位止めてあり、登山口を塞ぐように車が止められていた。登山道に入り少し登った所に「大滝大聖不動明王」が祀られており、心の中で安全登山をお祈りしながら通過する。

男の川沿いに緩やかに登って行き、ニリンソウを探すがまだ葉が出たばかりでつぼみも見えない。上から下って来た夫婦に。「ニリンソウは咲いていましたか？」と聞くと「今年は花が遅く、あまり咲いてないです」と返ってきた。それでもいつもの群生地には、少し白い花が咲いていて写真に収める。カタクリの花はあちこちに咲いており、登りの疲れを癒してくれる。気温が高く汗が目に入り、とても歩きにくい。途中休憩を取り、水分を小まめに補給しながら登る。沢から離れ急坂を九十九折れに登り、傾斜が緩くなると薬王院からのコースと合流する。分岐を左に進み、少し登ると自然研究路と合わさり、左に行くと御幸が原、右に行くと男体山を経由して御幸が原に降りるコースとなる。我々は右の自然研究路コースを進み、男体





山山頂を目指す。自然研究路と言うだけあって、コースには動植物などの案内板が設置され、筑波



山の自然を理解するには良いコースだ。カタクリやキクザキイチゲの花を楽しめるが、結構急なところもあり、楽なコースではない。急な階段を上り、最後は岩の急坂を登ると神社の西側から男体山頂へ出る。神社の前で記念写真を撮り、御幸が原に向かって降りて行く。御幸が原は、大勢の観光客や登山者で賑わっていた。トイレを済ませ、カタクリ園地を見てから女体山へ向かう。大勢の登山者とすれ違い、歩くのも気が抜けない。女体山手前にザックをデポ

し、山頂に登ったが山頂も大勢の登山者で写真を撮るのも一苦労。山頂の標柱の前で記念写真を撮り、早々に引き上げる。昼食の場所が無いのでカタクリ園地まで戻り、大きなテーブルを相席で使わせてもらいライイチタイムとする。今日の山ご飯は天ぷらうどんとおにぎり。沢庵や梅干し、ドーナツなどお腹いっぱい食べ、お茶を飲んだら下山する。下山は女体山まで戻り、筑波高原キャンプ場コースを下る。笹の間を降りて行き、急坂を下り切るとなだらかな登山道になり、両側にカタクリの花が沢山見られる。屋根が見えると間もなくキャンプ場に入り、広いベンチで最後の休憩を取り、リンゴや菓子を食べながらおしゃべりを楽しむ。今回はオジサンが多く、体験山行のお二人にはお話し相手が少なくて気の毒だったが、山は楽しんでいただけたようだ。

キャンプ場でトイレを済ませて帰路につき、予定より早く鹿窪運動公園へ帰着出来た。

